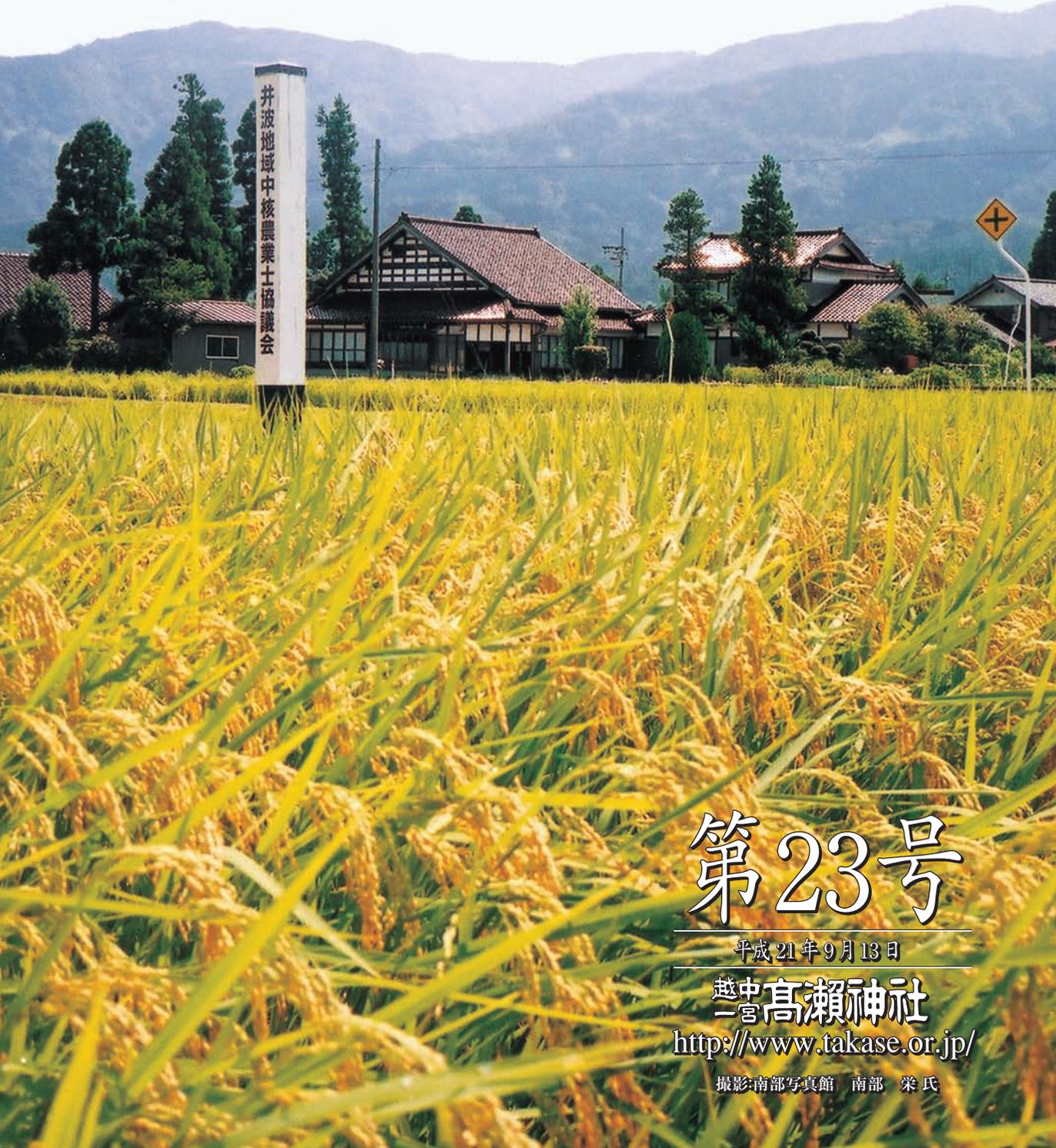


高瀬神社 社報

越中一宮



井波地域中核農業士協議会

第23号

平成21年9月13日

越中高瀬神社

<http://www.takase.or.jp/>

撮影:南部写真館 南部 栄氏

社頭講話

「文化を考える」

宮司 藤井秀弘

毎日使う日常語の多い中において良く耳にしたり、話す言葉に「文化」と言う言葉があります。国語辞典には「生活内容が高まること。人間が精神の働きによってつくり出したもの」と書かれています。言葉を置きかえると「生活の知恵」と言うことだろうと思います。過日、大学の先生に聞いたことですが、和紙漉きのやり方や道具の進化によって、近代的な漉き方がされるようになり、薄い紙が出来るようになったそうです。ところが、古来からの書籍文献の修復をする時に使う紙を漉く人が減少して、現在は高知県に住んでいるお婆さんだけになったとのお話でした。単なる紙漉きのことかと云ってしまえばそれでおわりになるのかも知れませんが、遠い昔から工夫改良され、伝承されてきた日本古来の紙漉き文化が消え去ろうとしていることを多くの国民は知る必要があります。更に行政担当の人たちは、政党の事よりも日本の文

化の現状を理解してほしいと思うのです。これは単なる一例ですが、日本全国に今、消え去ろうとする文化が数多くあると思います。その文化を創造するために祖先たちは大きな労力を使い、強靱な精神力をもって築いてきたわけですから、現代に生きる私たちは、次の世代に大切に伝承すべきだと思おうのです。これは単にモノを受継ぐのではなく、技術や心を受継ぐのです。今、消え去ろうとしている古来からの文化をどのように育て、継承してゆくかを考えるとき、具体的には各種の補助をしたり、保持者を表彰したり、その他の方法や対策はあると思いますが、末永く活躍される機会を考えてあげてほしいのです。

平成二十五年十月に伊勢神宮式年遷宮が斎行されます。これも日本文化の伝承と古来からの文化をしのぶ大切な行事だと思えます。今までも国をあげて斎行してまいりました。今回も国民総奉賛ということで、多くの

方の賛同を得て行われています。このように心から文化を愛し、理解しようとする姿が日本人本来の姿でありましょう。また、豊かな心を有する人間だと思おうのです。

文化を論ずるとき自国の文化を愛することこそ重要なことでありましょう。

少々話題を変えますが、何か行事をするとき、その行事が古来からの伝統的な行事であつても宗教的要素を有すると政教分離と云うことで官公庁は関係ありません、という態度になつてしまいます。宗教に関することは全て罪悪であるように取り扱われる、それがすばらしい日本文化であつてもそのような傾向にあるような感じがします。

唯々、心淋しい思いです。宗教だけが文化を受継いでいるということではありませんが、寺社の多くは日本人らしい形や心を受継ぎてきていると思えます。私たちの世代でこの優秀な文化を絶やすことは遠い祖先の希望を断つことになります。そうならないように、心ある人たちが手をとりあつて日本の良き文化を守っていかれたら良いと思えます。文化は全ての人の栄養となると考えています。

明治神宮崇敬会富山県地区会
結成三十周年記念総会

明治神宮崇敬会富山県地区会
は結成三十周年をむかえ、去る七月六日参集殿を会場に記念総会が開催されました。

総会では、中島精太郎明治神宮宮司の祝辞があり、長年にわたり会の運営に寄与された方々に感謝状と記念品が贈られました。

また、御本殿正面の鳥居近くにおいて、明治神宮の宮域林より拝受した榊の記念植樹式が執り行われました。



祭 事 録

夏越の大祓

六月三十日午後三時より「夏越の大祓」が斎行されました。

大祓は知らず知らずのうちに犯し、身についた半年の罪・穢を「人形」に託し、大川路に流し遣る儀式です。拝殿の中でお祓いをうけた後、向拝に設置された「茅の輪」を神職の先導でくぐり、心身を清めます。

本年は氏子崇敬者約一五〇名の参列があり、一同は残りの半年を清々しく過ごせるよう祈念しました。



高瀬稻荷社例祭

六月三十日午前十時より末社「高瀬稻荷社」の例祭が斎行されました。

本年は梅雨の合間の好天に恵まれ、講員三十名が参列しました。

例祭に引き続き、御本社にて「商売繁盛祈願祭」が執り行われ、講員一同は商売繁盛・家内安全を祈願しました。



第十回人形感謝祭

七月十九日午前十時より「人形感謝祭」が斎行されました。

古くなった「日本人形」や「ぬいぐるみ」など約二〇〇〇体が納められ、「大麻」と「切麻」により祓い清められました。参列者一同は感謝の言葉を捧げ、おわかれしました。

除熱祭

七月二十一日午前十時より「除熱祭」が斎行されました。

御本社での祭典につづき、神職・巫女が猷穀田に赴き、順調に成育する稲を祓い清めました。

夕刻には氏子による「熱おくり太鼓」が町内を練り歩き、暑さに負けず夏を乗り切り、稲や畑作物に災害なく無事に生育するよう祈願しました。



七夕祭

八月七日午後三時より、当神社では初めての七夕祭を斎行いたしました。

当日は、あいにくの雨でしたが、多くの子ども達参列のもと短冊に書いた願い事が叶うよう、神様にお願ひしました。七夕期間中は、高瀬保育園や山野保育園の園児をはじめ、多くの参拝者が短冊を記入し、賑やかな社頭となりました。



「第九回 人形展」開催

「第十回人形感謝祭」にあ
 わせ七月十八日より二十日ま
 で「第九回人形展」一期一会
 —人形いけばな・響き合う
 愛—が開催されました。

木彫や和紙・ガラスなどを
 素材にした作家二十名の創作
 人形一二〇点余りの人形が展
 示され、いけばな草月流富山
 県支部「秀抱会」により会場
 が装飾されました。



草月流富山県支部「秀抱会」
 会長 梅崎 秀鈴



阿部 達也 (富山)



荒井 恒雄 (井波)



池田由美子 (砺波)



牛島 辰馬 (城端)



八木 裕子 (富山)



福島まゆみ (金沢)



松本 昌子 (利賀)



飛騨山静恵 (富山)



つるもりひろこ (野々市)



田中 孝明 (井波)



安達 陽子 (砺波)



木村 正和 (井波)



鷺塚 貴紀 (小杉)



吉水高佳代 (富山)



谷口 淳一 (滑川)



野村 幸子 (井波)



嶋田 数男 (庄川)



岸本 耕平 (富山)



小幡 祐嗣 (富山)



サプロウ (富山)



富山県神社庁主催
「浦安の舞」講習会

去る八月四日より七日にかけて、富山県神社庁主催の「浦安の舞」講習会が開催されました。
 当神社の巫女二名が受講し、神社音楽協会講師の先崎径子先生にご指導いただきました。
 尚、この舞は大祭に御神前で奉奏されます。

参拜日誌抄

(平成二十一年六月〜八月・敬称略)

「六月」

- 五日 (財)東車維持財団(一宮市) 理事長 豊島次郎 以下四十二名
- (株)越路ガーデン 社長 西尾廣士 以下十五名
- 六日 ON会(愛知県)
- 八日 氏子清掃奉仕(村総出) 神社総代会砺波支部 臨時評議員会
- 十三日 立正佼成会(清掃奉仕)
- 二十日 高瀬遺跡菖蒲まつり実行委員会
- 二十六日 愛知県神社庁額田分区連合会 会長 押尾俊治 以下八十九名
- 愛知県碧南千福大国さまの会 会長 平松健策 以下四十七名
- 三十日 高瀬稻荷講 商売繁盛祈願祭

「七月」

- 一日 中越パッケージ(株)砺波工場 中越パッケージ(株)富山工場 中越パッケージ(株)福光工場 川田工業(株) 六十名 建設業労働災害防止協会 富山県支部砺波分会 六十名 (社)富山県労働基準協会 砺波支部 六十名
- 二日 林業木材製造業 労働災害防止協会砺波分会 八十名
- タカハタ工業(株) タカハタ工業(株)親和会 九十名 シルバー人材センター 五十名
- 三日 松本建設(株) 十三名
- 六日 明治神宮 宮司 中島精太郎 同崇敬会 事務局長 額賀大康
- 七日 神社庁砺波支部役員
- 九日 福野高校野球部 三十名 (県予選・必勝祈願)

「八月」

- 十三日 立正佼成会(清掃奉仕)
- 十七日 小國神社 宮司 打田文博 同敬神婦人会 会長 小池まさ子 以下三十九名
- 第二日 富山県神社総代会砺波支部 「総会」「国家隆昌祈願祭」
- 三日 福野高校野球部 二十七名 (甲子園大会・必勝祈願)
- 四日 富山県神社庁主催 「浦安の舞講習会」(七日迄)
- 二十八日 富山県神社庁研修会 二十五名
- 二十九日 富山県神社庁総会 七十名

団体参拝のご案内

事業所の安全祈願・創立記念日等の各種祈願を随時受け付けております。

お問い合わせは社務所まで。
 (初穂料) 一〇,〇〇〇円)

シリーズ

高瀬の今昔 ②

いまむかし

「神前結婚式のこと」

今も昔も変わらぬ神前結婚式は数多い人生儀礼の中でも重要な慶事の一つに数えられ、新たに家庭を築くという意味合いにおいてもたいへん意義深い儀礼であります。縁結びの神様でも知られる高瀬神社では、毎年多くの夫婦が結ばれております。

現在のような神社における結婚式の形は、嘉仁親王（後の大正天皇）と九條道孝公爵の第四女・節子姫（後の貞明皇后）とが明治三十三年五月十日、宮中賢所大前で執り行われた御婚儀が、大きな影響を与えております。

この婚儀に基づき、国民の間にも神前結婚式を挙げたいという気運が高まり、東京の神宮奉賛会（現在の東京大神宮）が皇室の婚儀を参考に民

間での神前結婚式を創設。翌明治三十四年三月三日に模擬結婚式を開催し、全国各地に普及しました。特に、昭和三十四年四月十日には皇太子明仁親王（今上陛下）と正田美智子様（皇后陛下）の御成婚がテレビで全国に放映された事が大きなきっかけとなり、神社で結婚式を挙げられる方が大変多くなりました。

当神社において最初の神前結婚式は昭和六年三月二日午前十一時より、氏子の石岡富子さんが新婦として挙行されました。高瀬神社では初めての結婚式という事もあり、多くの参観者があつたと当時の日誌や社報に記録されております。

本年は天皇陛下御即位二十年、天皇皇后両陛下御結婚五十年の慶賀の年であります。これからも高瀬の大神様の御神縁により、多くの夫婦が結ばれ、末永く幸せに過ごされることを切にお祈りいたします。

（権禰宜 長谷川宏幸記）

諸催事のこと

国家隆昌祈願祭

去る八月二日、「富山県神社総代会砺波支部総会」が開催されました。

総会に先立ち、砺波支部管内の氏神三十五社が同座されている本殿にて約二三〇名の総代参列のもと「国家隆昌祈願祭」が斎行されました。終了後、多年にわたり社務運営に寄与された方々に総代会支部長より感謝状と記念品が贈られました。

午前十時から総会が開催され、



その後、高岡法科大学准教授 本多俊彦氏により「直江兼続と本多家」と題し講演会が開催されました。

必勝祈願

七月九日、第九十一回全国高等学校野球選手権大会の富山県予選出場に際し、南砺総合福野高校野球部の監督・選手・保護者の皆さんが必勝祈願をされました。関係者一同、心一つにして参拝されていた姿はとても美しく感じました。

県予選では強豪校を次々と撃破し、決勝戦へ進出されました。決勝戦では苦境に追い込まれながらも、奇跡の大逆転で優勝の栄冠を勝ち取られました。

「苦しいときの神頼み」といいますが、大神様はグラウンドとスタンド、そして南砺市民の心が一体となった姿をご覧になって優勝というご褒美をくださったのだらうと思えます。

甲子園大会では初戦敗退という残念な結果となりましたが、私たちに大きな希望と感動を与えてくれました。

今後全力で野球に、勉強に励んでいただき、益々活躍されることを期待しています。

平成二十二年「初詣献灯」の御案内

当神社では「初詣献灯」を実施致しております。本行事は、初詣期間中に正参道両側に「提灯」を掲げ、来る新年が更なる輝かしい一年となるよう、尚一層の御神徳を授けて戴くことを願ひ奉納するものです。

一、「初詣献灯」は正月七日まで、境内等参拝者道筋に献灯いたします。

一、「初詣献灯」は、それぞれ正面に希望の芳名（会社・氏名等）を記入いたします。

一、献灯者の家内安全・商売繁盛の祈願祭を奉仕いたします。

一、献灯初穂料は、一基につき 金壺萬円御志納願ひます。

一、申込締切 十一月三十日までにお申込下さい。

※記載芳名 例（約八文字）

一、会社

南砺市 (株)高瀬
高瀬産業株式会社

二、個人

高瀬 高瀬太郎
高瀬 太郎

御案内

七五三詣

本年は次の通りです

○七歳（女子）

平成十五年生

○五歳（男子）

平成十七年生

○三歳（男女）

平成十九年生

※十月一日より十一月末日まで、毎日午前八時三〇分より午後四時三〇分まで随時受け付けております。

祭典・結婚式等で御奉仕できない時間帯もありますので、社務所までおたずね下さい。尚、十一月二十三日は新嘗祭斎行のため午後一時より受付いたします。

第三十六回献茶式

十月二十五日（日）

午前十時斎行

（呈茶席・二席）

午前九時～午後二時三十分

（主催）

高瀬神社献茶奉賛会

（本席）

裏千家 となみ同好会

（副席）

裏千家 小矢部市 静和会

（茶券）

一枚三千円（短冊・点心付）

平成二十二年

初詣奉仕巫女募集

初詣にご奉仕いただく巫女を募集します。

〔期間〕

一月一日～三日

〔募集人数〕

八十名

※詳細は社務所へお問合せ下さい。

編集後記

今夏は「エルニーニョ現象」の影響で、当地方は「梅雨明けなし」となり、日照時間も戦後最短という異常気象でした。

そのような中、地元「南砺総合福野高校」が甲子園初出場という快挙を成し遂げ、ハツラツとしたプレーで地元を大いに沸かせてくれました。今後益々の活躍を期待しています。

〔表紙写真〕

献穀田・秋のみり

七五三参り

お子様の健やかな成長を祝う七五三参り

高瀬神社にてお子様の衣裳（和装・洋装）レンタル及びご家族様のお衣裳レンタル、着付け、記念写真撮影を承りますので、社務所へお気軽にお問い合わせ下さい。 担当 黒田



七五三内見会

10月17日(土)・18日(日) 午後1時から午後5時

アマノ衣裳店の協力により、写真・衣裳の内見会を開催いたします。是非この機会をご利用下さいませよう、お待ちしております。

ブライダル相談会及びフェア情報

9月

S	M	T	W	T	F	S
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

10月

S	M	T	W	T	F	S
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月

S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

12月

S	M	T	W	T	F	S
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

■和装フェア ■13時・14時・15時 リハーサル体験会(要予約)
■9時～16時 婚礼相談会 ■13時～16時 平日相談会

和装体験フェア

9月26日(土)・27日(日)
午前10時～午後4時

2010
1/1(金) 午前零時～午前三時
午前九時～午後五時

新春ブライダルフェア

- ☆結納品展示
- ☆御婚礼商品展示
- ☆ウェディングドレス展示及び試着会

MAKI PRINTING

私たちは、時代とともに刷新します。



牧印刷株式会社

本社 〒939-1811 富山県南砺市理休333-1 Tel.0763-62-0112 Fax.0763-62-3823
砺波営業所 〒939-1368 富山県砺波市本町13-27 アラックスビル砺波206.B Tel./Fax.0763-33-4566